

# **Arcmanager** **自己復元ライブラリ**

**ユーザーズマニュアル**  
**05版**

**富士通エレクトロニクス株式会社**

## はじめに

### ■ 対象読者

本マニュアルは、当社製品であるデータ圧縮アーカイブライブラリ「Arcmanager DLL for Windows」の仕様をご理解いただき、且つ C 言語の知識がある技術者の方を対象に記述しています。

### ■ 著作権

Arcmanager DLL for Windows、Arcmanager 自己復元ライブラリの著作権は、富士通エレクトロニクス株式会社が保有しています。

### ■ 商標

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、会社名、製品名の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。

本マニュアルに記載されている会社名、システム名、製品名等には必ずしも商標表示 (TM ・ ®) を付記していません。

### ■ 製品名称

本マニュアルでは、製品名称を次のように略して表記しています。

Windows Server® 2008 operating system を Windows Server 2008 と表記しています。

Windows Server® 2003 operating system を Windows Server 2003 と表記しています。

Windows® 2000 Server operating system を Windows 2000 Server と表記しています。

Windows® 7 operating system を Windows 7 と表記しています。

Windows Vista® operating system を Windows Vista と表記しています。

Windows® XP operating system を Windows XP と表記しています。

Windows® 2000 operating system を Windows 2000 と表記しています。

1. 本資料に記載した製品および製品の仕様につきましては、製品改善のため予告なしに変更することがあります。したがって、ご使用を検討の際には、本資料に記載の情報が最新のものであることを弊社技術担当、あるいは弊社営業担当にご確認ください。
2. 本資料に記載された情報・回路図は、当社製品の応用例として使用されており、実際に使用する機器への搭載を目的としたものではありません。また、これらの情報・回路図の使用に起因する第三者の特許権、その他権利侵害について、当社はその責任を負いません。
3. 本資料に記載された製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、当社担当営業までご相談ください。
4. 本資料に記載した内容を、弊社に無断で転載または複製することはご遠慮ください。
5. 本資料に記載された製品が、「外国為替および外国貿易法」に基づき規制されている貨物または技術に該当する場合には、本製品を輸出するに際して、同法に基づく許可が必要となります。
6. 本資料に記載された製品のパスワード機能は簡易的なもので、セキュリティ目的にはご使用になれません。お客様の機密情報保護を目的とした用途にはご使用にならないでください。
7. 各社が提供する開発ツール（コンパイラおよび付属のライブラリ）の不具合および仕様に起因する問題については弊社の保障対象外とします。

## 目次

1	概要 .....	1
2	動作環境 .....	1
3	使用方法 .....	2
4	拡張機能 .....	3
4.1	コマンド .....	3
4.2	オプション .....	3
5	注意事項 .....	4
	付録：自己復元暗号書庫ファイルについて .....	i
i	動作環境 .....	i
ii	仕様 .....	i
iii	エラーリファレンス .....	i

## 1 概要

Arcmanager 自己復元ライブラリは、Arcmanager DLL for Windows に含まれる自己復元ライブラリ AmSsDb.dll と置き換えることによって、通常形式の自己復元書庫ファイルに加え、暗号形式の自己復元書庫ファイルの作成を可能にするプログラムです。

Arcmanager 自己復元ライブラリのファイル名は、Arcmanager DLL for Windows に含まれる自己復元ライブラリと同名の AmSsDb.dll です。

なお、本書には、本製品を使用することによって拡張される機能についてのみ記載しています。その他の一般的な機能については「Arcmanager DLL for Windows ユーザーズマニュアル」に記載していますので本書と併せてお読みください。

※ 以降、通常形式の自己復元書庫ファイルを“自己復元書庫ファイル”、暗号形式の自己復元書庫ファイルを“自己復元暗号書庫ファイル”と記述します。

## 2 動作環境

本製品の動作環境は、次のとおりです。

Windows Server 2008

Windows Server 2003

Windows 2000 Server

Windows 7

Windows Vista

Windows XP

Windows 2000

※ 動作環境（OS）は、すべて日本語版です。

### 3 使用方法

使用方法は次のとおりです。

- ① 既存の `AmSsDb.dll` と置き換えます。
- ② `AmSsDb.dll` を使用するプログラムの初期化処理で自己復元ヘッダーの選択インターフェース `AMSelectSelfExtractor()` の引数に `AM_SFXID_CIPCONS` を指定して呼び出します。これ以降、自己復元形式の書庫ファイルを作成する際には 32 ビット Console/暗号形式の自己復元プログラムが使用されるようになります。
- ③ `AMInvoke()` 関数において SオプションとKオプションを同時に指定することで自己復元暗号書庫ファイルの作成、更新、削除が可能になります。

※ `AMSelectSelfExtractor()` の引数に `AM_SFXID_CONS` を指定することで、通常の 32 ビット Console 形式の自己復元プログラムを使用することも可能です。

## 4 拡張機能

本製品を使用することにより、次の機能を使用することができるようになります。

- ・ 自己復元暗号書庫ファイルの新規作成
- ・ 自己復元暗号書庫ファイルへの追加、更新、削除処理
- ・ 自己復元暗号書庫ファイル以外の書庫ファイルから自己復元暗号書庫ファイルへの変換

各書庫ファイルに対して指定できるコマンドは次のとおりです。

書庫形式 \ コマンド	A	U	E	D	L
通常書庫	○	○	○	○	○
暗号書庫	○	○	○	○	○
自己復元書庫	○	○	○	○	○
自己復元暗号書庫	◎	◎	○	◎	○

◎：指定可（拡張機能） ○：指定可 ×：指定不可

各書庫ファイルから変換することのできる書庫形式は次のとおりです。

変換元 \ 変換先	通常	暗号	自己復元	自己復元暗号
通常書庫		○	○	◎
暗号書庫	○		×	◎
自己復元書庫	×	×		◎
自己復元暗号書庫	×	×	×	

◎：変換可（拡張機能） ○：変換可 ×：変換不可

※ これらの拡張機能は、AMSelectSelfExtractor() の引数に AM\_SFXID\_CIPCONS を指定した場合のみ有効となります。

### 4.1 コマンド

自己復元暗号書庫ファイルに対し、A,U,Dコマンドを指定することができるようになります。

### 4.2 オプション

S オプションと K オプションを同時に指定することができるようになります。

## 5 注意事項

以下に本製品を使用するにあたっての注意事項を記述します。

○AMSelectSelfExtractor() の引数に AM\_SFXID\_CIPCONS を指定した場合

- ・ 自己復元暗号書庫ファイルの作成時には、Sオプションに加え、必ずKオプションを指定する必要があります。Kオプションを指定していない場合、エラーとなります。
- ・ 自己復元書庫ファイルを作成することはできません。

○AMSelectSelfExtractor() の引数に AM\_SFXID\_CONS を指定した場合

- ・ 自己復元書庫ファイルの作成時に、K オプションを指定することはできません。K オプションを指定した場合、エラーとなります。
- ・ 自己復元暗号書庫ファイルを作成することはできません。

## 付録：自己復元暗号書庫ファイルについて

### i 動作環境

自己復元暗号書庫ファイルの動作環境は、次のとおりです。

Windows 7

Windows Vista

Windows XP

Windows 2000

※ 動作環境（OS）は、すべて日本語版です。

### ii 仕様


自己復元暗号書庫ファイルの仕様は次のとおりです。

- 自己復元暗号書庫ファイルを起動させると、コマンドプロンプトを表示します。
- 暗号鍵の入力を要求します。
  - ・ 正しい暗号鍵を入力した場合は、復元処理を実行します。
  - ・ 不正な暗号鍵を入力した場合は、再度入力を要求します。
  - ・ 暗号鍵を3回間違えるとプログラムを中断します。
- 復元対象のファイルは、カレントフォルダへ復元します。
- 復元対象のファイルが既に存在する場合、上書き確認の問い合わせを行います。

### iii エラーリファレンス

自己復元暗号書庫ファイルのエラーコードは次のとおりです。

エラーコード	メッセージ	内容
0	—	正常終了
3	The archive file is broken.	書庫ファイルが正しくありません。
4	The key is not correct.	暗号鍵が一致しません。
100	System error.	システムエラーが発生しました。

  
**FUJITSU**